

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名	御勅使南公園					
指定管理者	(株)富士グリーンテック		所管課	都市計画課		
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	以下の都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・スポーツの場を提供すること					
指定管理者が行う業務	施設・備品の管理運営業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 本県が実施する大会等への協力					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
	施設の保守管理は老朽化している箇所が多いため、日常点検等において経年劣化による不具合がないか注意し、必要に応じた予防措置や初期対応を行なっています。植栽管理は順応型管理を基本にジャストインタイムな措置に心がけ、常に整然とした環境を保持しています。清掃についても管理範囲に隣接する場所等はスタッフがボランティアで対応するなど、これらの事が、利用者から幅広い評価を頂戴と考えております。		全体的に、適切な維持管理が行われている。遊具においては、全体的に老朽化しているため、不具合箇所の早期の見発見及び修繕に努め、適切な維持管理を行うこと。日々の園内巡視を徹底し、園内を快適な空間に維持できるように努めること。			
運営業務の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
	利用者のクレームについては、不具合は正報告で適正な処置を実施するべく伝達し、県と協議して対応をとり自主修繕で改善をしています。また、アンケート調査を実施して、利用者が何を求めているのかをつかみ、事業に反映する。それらの事で利用サービスの向上が図られていると思っています。スタッフについてはOJTやOFFJTを通して、施設の裏方役として常に利用者目線で気づき、対応する姿勢が備わってきたと思います。		施設利用の促進に向けて、広報活動が行われるとともに、イベントが開催された。今後は、さらに積極的に広報活動を行い、イベント等の企画・開催を図ること。			
自主事業の評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容			
	園内の豊かな自然の中で、新しく設置したジョギングコースでコミュニケーションや体力の増進をはかる。子供たちに植樹をとおして命の大切さを認識させる事が出来た。オープンテラス化にして2年目にあたり、利用者もだんだんと慣れ親しんできた。引き続き開放的空間を演出したい。飲料水の他に様々なメニューの提供で利用者滞在の利便を図ることが出来ている。		ジョギング走路を利用した催しを実施し公園の利用促進や、園内の豊かな自然を体験する企画を実施している。さらに新たなイベント等の企画・開催に努めること。			
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声		
	評価	総合的な満足度=満足/全体=73% 良好な緑地景観、環境を提供すること:満足80%、普通18%、悪い2% 遊び、憩いの場を提供すること:満足77%、普通23% スポーツの場を提供すること:不明 サービスの提供(広報、利用、接客、案内等):情報及び案内:満足54%、普通40%、悪い16% 安全性:満足54%、普通44%、悪い12% スタッフ対応:満足75%、普通25% サービスの提供(有料公園施設等の運営):満足82%、普通18% イベント:満足74%、普通24%、やや不満1% その他事業:満足91%、普通8%、やや不満1%		野鳥観察や落ち葉を活かした環境づくりをしてほしい 遊びの範囲を限定した看板だらけの今時の遊具より、子供自身が考えられるような遊び場がほしい 親子で遊べるイベントをもっとやってほしい 工作や体験教室等の自然に触れるイベントを望む声が多い等		
利用者満足度調査	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		ジャストインタイムで管理体制を整えて、常時整然とした植栽管理を徹底していることが、満足度を得られている表れだと思う。園長2kmの細長い公園に、利用目的によってゾーニング分けされているところが、評判が高い。一方施設の老朽化を指摘する声が多いなかで、改修要望や応急処置は怠らないようにしたい。サービス事業も3年目に入り、なかには利用者にて定期行事として楽しみにされている方もいる。また売店機能やオープンテラス化が利用と運営の距離を縮めている。思いやりやコミュニケーションを持ってもらう為のイベントで、定着化してきた感じがある。		全体的に良好な満足度を得ていると評価できる。利用者のニーズを十分に把握した上で利用者からの要望の実現に向けて努力すること。		
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
		公園利用者数	172,389	173,000	163,853	164,000
利用実績	評価	有料施設利用者数	21,984	21,000	17,873	18,000
		指定管理者の自己評価	今年度は給水施設の改修工事において、公園施設の利用を制限したことが、利用人数に影響したと思う。有料公園利用者数の前年割れの原因は、19年度は日本女子サッカー選手権が約1000人規模で開催された行事が今年度はなかったことである。			
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
		収入	700,000	667,205	32,795	817,000
収支の状況	収入	利用料金収入	75,975,000	75,975,000	0	77,223,000
		指定管理料	1,500,000	1,440,000	60,000	1,600,000
収支の状況	支出	その他収入	78,175,000	78,082,205	92,795	79,640,000
		計	78,175,000	76,936,000	1,239,000	79,640,000
収支の状況	差引き(収入-支出)		0	1,146,205		0
		指定管理者の自己評価	試行錯誤をしながら、売店などの利用者ニーズに応えながら、滞在性の確保と収入につながった。植栽管理費は順応型管理で初期対応が効率性を生んだ。廃棄物については、家庭ゴミの不法廃棄等が多く、今後の課題である。			
施設の運営目標の達成状況	評価	施設所管課の評価		施設所管課の評価		
		植栽管理費について、初期対応の効果によって、削減できたことは、指定管理者の努力によるものである。一般に有効利用される対策を検討し、利用者の増加に努め、芝生の管理に十分注意を図りながら有料公園施設の利用者を増加させるとともに、更なる経費の削減に努めること。		公園の利用人数については、昨年度実績及び目標より減少したため、達成できなかったが、これは給水施設の改修工事等が影響していると思われる。有料施設利用者数についても、昨年度実績及び目標より減少したため、達成できなかったが、大規模な行事が開催されなかったことや、芝生の養生のために利用調整を行ったことが影響している。しかしながら、当公園の特徴を十分認識して生涯スポーツの振興や様々な環境に対する社会貢献活動を行ない、また、園内を快適な空間に維持できるように努めたことは評価できる。		
総合的な評価及び改善事項	園内は、清潔に保たれており、施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われており、効果的な管理運営が図られた。良好な管理が行われているので、今後も管理・運営の質の向上に努めること。H21年度から新たに5年間の指定管理契約が開始されているので、さらなる運営成果の向上に努めること。					